



2019年7月23日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック  
代表者名 代表取締役社長 福永 健司  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰  
(電話番号 03-6551-2601)

### 京ダイアグノスティクス株式会社との代理店契約締結のお知らせ

株式会社トランスジェニック(代表取締役社長：福永 健司、福岡市)は、このたび京都大学発ベンチャーである京ダイアグノスティクス株式会社(代表取締役社長：小西 一豪、京都市、以下 京ダイアグノスティクス)と、同社が京都大学と創薬・個別化医療研究で利用するヒト由来がん幹細胞スフェロイド培養細胞(以下、スフェロイド培養細胞)とそれを移植したがん幹細胞スフェロイド移植マウス(PDSX)<sup>※1</sup>を用いたがん治療薬の非臨床試験の受託活動に関する代理店契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本代理店契約締結により、当社はPDSX法による非臨床試験受託業務を2019年9月上旬に開始する予定です。

当社は、創薬ツールとして需要の高いモデルマウスの導入を推進するとともに、これらモデルマウスを用いた非臨床試験受託を展開することで独自性の高いサービスで事業拡大を図っております。

このたび締結した代理店契約は、京ダイアグノスティクスが京都大学との連携で開発したPDSXを用いた非臨床受託業務について、当社及び当社グループ会社の営業ネットワークを通じて当該業務を展開するものです。

当該PDSX法は、従来のPDX<sup>※2</sup>法に比べ、より忠実にヒト腫瘍を再現しており、がん治療薬の評価に関して、期間の短縮、再現性、信頼性に優れています。実際、既知の化学療法薬投与実験の結果は、対応する大腸がん患者の臨床での薬効とよく一致することが示されています。本PDSX法により、製薬企業や創薬ベンチャーへの薬効評価の受託が可能となり、抗がん剤の開発研究に大きく貢献することが期待されます。

当社は、今後も優位性の高い試験サービスを提供してまいります。

#### ◆当社グループ関連サービス：

- ・ [薬効薬理試験](#)

#### ◆ご参考

##### ※1 PDSX (Patient-Derived Spheroid Xenograft)

PDSXは、がん患者から摘出したがん幹細胞を三次元培養で細胞凝集(スフェロイド)を形成させ、免疫不全マウスに移植してヒトのがん組織を再現させたモデルマウスです。

低コスト、短期間（約2か月間）、かつ再現性高くモデルマウス作製が可能で、がんの臨床病態解析や抗がん剤の評価に有用です。

※2 PDX (Patient-Derived Tumor Xenograft)

PDXは、がん患者から摘出したがん組織サンプルを免疫不全マウスに移植し、当該マウスで増殖したがん組織を再び免疫不全マウスに移植することを繰り返し作製したモデルマウスです。がんの臨床病態解析や抗がん剤の評価に有用です。

<参考文献>

[Molecular Cancer Therapeutics, 2018 Oct; 17\(10\):2187-2196](#)

[A Chemosensitivity Study of Colorectal Cancer Using Xenografts of Patient-Derived Tumor Initiating Cells.](#)

[Maekawa H, et al.](#)

[Oncotarget. 2018 Apr 24;9\(31\):21950-21964.](#)

[An improved method for culturing patient-derived colorectal cancer spheroids.](#)

[Miyoshi H, et al.](#)

以上